



神とは誰でしょう？

Ár nAthair, atá ar neamh...

神はいますか？ どんな神であって欲しいですか？

人生が順調なとき、神の必要を感じないことがよくあります。あるいは、望むことを何でも叶えてくれる「魔法の魔神」のような神を望みます。しかし、実際には、そのような神は私たちの役に立ちません。それは、私たちがコントロールできる小さい神です。人生の困難な局面では希望が必要です。私たちの問題を超越する大きな神、私たちが知ることができる神が必要です。

あなたの神についての見方は、そびえ立つ大聖堂（栄光ある遠く離れた神）、または、火のように激しい説教（絶え間なく怒る神、いつでも罰する準備ができています）、または神に従うと主張する人々の偽善（残念ながらよくあることです）によって歪められているかもしれません。

しかし、真の神が違ったらどうでしょうか。パトリックが自身の経験から書き記した重要な（神の）特質をいくつか紹介します。

善良 - 「長い話です...善良な神が私を奴隷の身から解放してくれた話をします...」 善良な神とは？

それは私たちの大きな疑いではありませんか？多くの困難なことが起き、私たちには理解できないときに、神がいるとしても、本当は善良ではないのではないかと（...と思いませんか。）人生を変えるほどの困難の真っ只中で、神は善良であるという確かな真実を知った人の話を聞くことは役に立ちます。

力強い - 神が善良なら、力強くないのかもしれませんが。パトリックの言葉をもう一度聞いてください。「私は泥の中に深く横たわっている石のようでした。すると力強い方が来て、私を持ち上げ、私の人生を良い方向に変えてくださいました。」自分の人生をやり直すことはできないと感じていませんか？しかし、「あなたの人生を良い方向に変える」ことができる力強い神がいます。パトリックと数多くのクリスチャンはこの真実を知りました。キリストの十字架上の死と復活もそれを証しています。神は力強いのです。

知ることができる（近づくことができる） - 神は遠く離れたところや高いところにいる方ではありません。神はあなたが知ることができる存在です。パトリックはこう書いています。「だからこそ、私は伝えずにはいられないのです...」

私たちの人生が変わり、神を知るようになると...」神について知るのはなく、神を信じることを超えて実際に神を知ることを。パトリックとともに「主は私の神」と言えるようになるのです。

神は善良で、力強く、知ること（近づくこと）ができる方です。そして、この3つが組み合わさったとき、私たちは本当の希望と助けを見つけて知ることができます。

パトリックは真の生ける神を知りました。あなたも神を知ることができます。次のように始まります。

「私の名前はパトリックです。」

私は罪人であり、素朴な田舎者であり、すべての信じる者の中で最も小さい者です。

私は自分の弱さに気づきました。そして、私は心から私の神である主を仰ぎ見ました」